



令和4年度網走市予算の概要

ことしのまちづくり

はじめに

市民の皆さんには、日頃から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この冊子「ことしのまちづくり」は、網走市が令和4年度予算でどのような取り組みを進めるのかをお知らせしようと、その主な内容を取りまとめたものです。

今年度は、総合計画を基本として「新型コロナウイルス感染症への対応」「デジタル化の推進」「グリーンの推進」「子育て環境の充実」「産業の振興」「安全・安心なまちづくり」という6つの視点で、まちづくりに取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが見えない中、遠く離れた人とリモートで会議をすることが当たり前となり、自宅に居ながら仕事ができることは、このコロナ禍で急速に進みました。一方で、デジタル技術の進展は、人と会うことの大切さや、人と触れ合うことの大事さ、人の温もりを感じられることの喜びを改めて感じさせました。コロナ禍を時代の先駆けと捉え、この2つが融合する社会の実現に向け、着実にまちづくりの歩を進めてまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

網走市長 水谷 洋一

目 次

○ことしのまちづくり6つの視点	1
○令和4年度各会計予算額	1
○去年の予算と比べると	2
○一人当たりの予算額と他市の比較	3

1. 一人ひとりを大切に作るやさしいまち

保健	4
地域医療、救急医療	5
地域福祉	6
高齢者福祉	6
障がい者福祉	7
子ども・子育て支援	7
社会保障	8

2. 豊かな自然と共生する安心なまち

土地利用	9
道路	9
港湾・漁港	10
公共交通	10
通信	10
防災減災	10
生活安全	11
自然環境	11
資源循環	11
住宅・宅地	12
上水道	12
生活排水処理	12
火葬場・墓地	12

3. ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

農業	13
林業	13
漁業	14
水産加工・販売促進	14
観光	14
商工業	15
産業振興	16
就労対策	16

4. 豊かなひとを育むまち

学校づくり	17
学校教育	17
高等学校・高等教育	18
生涯学習	18
社会教育	18
芸術文化	19
文化財保護	19
スポーツ	19

5. ともに歩み、築く協働のまち

市民活動	20
行政運営	20
情報	20

○第5次網走市行政改革推進計画	21
-----------------	----

※個別事業の予算額は、令和4年度当初予算と令和3年度繰越予算の合算額

I. 新型コロナウイルス感染症への対応

円滑なワクチン接種を進めるほか、感染予防資材の整備や検査費用の助成、無料のスクリーニング検査、不安解消を目的とした抗原定量検査の実施など、感染症の拡大防止に努めます。

また、旅行需要の回復を図るため、個人型及び団体型旅行商品の費用の一部を支援するほか、新しい生活様式への対応として、小中学校においては、リモート対応が可能となるよう教育環境の充実を図ります。

II. デジタル化の推進

観光ウェブサイトの刷新や、PR動画を活用した広告にデジタルマーケティングの視点を取り入れるなど、市の魅力を最大限に伝える仕組みを構築し、関係人口の創出を目指します。

また、施設の利用予約や申請手続きのオンライン化、コンビニエンスストアでの証明書の交付など、「書かせない」「待たせない」窓口の実現を進め、市民サービスの向上を図ります。

行政運営では、ペーパーレス化を基本とした業務改革により業務の効率化を図ります。

地域社会のデジタル化では、GIGAスクール構想の推進、AIデマンドバスの導入、デジタル化に取り組む事業者の支援、公共施設へのw i - f i環境の整備などに取り組めます。

III. グリーンの推進

太陽光発電を行う地域新電力会社を設立し、再生可能エネルギーの地産地消を推進するとともに、蓄電池を整備し、災害による停電時には、避難施設への電力供給を図ります。

また、「グリーンなまち」の実現を目指し、市全体の脱炭素化を進めるため、地域再生可能エネルギー導入戦略を策定します。

IV. 子育て環境の充実

安心して出産・子育てができるよう、切れ目のない総合的な支援に加え、お子さんの誕生に際した子育て応援祝い金の支給のほか、中学校卒業までの医療費を無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

学校生活においては、特別支援教育支援員を増員し、きめ細かな支援を充実させるほか、小学校でのカウンセリング体制を強化します。

V. 産業の振興

農業は、持続的な発展と魅力ある農村環境の維持を進めるほか、重要病害虫防止対策にも取り組み、水産業は、デジタル技術を活用したホタテの資源量、漁場状況の調査を支援します。

観光は、減少した観光需要の回復に向けた取り組みを進めるほか、戦略的な観光地づくりを推進するDMOを支援するとともに、流水館は、魅力の向上を図るため展示物を改修します。

中心市街地の振興では、コワーキングスペースの整備により新たな人の流れを創出するほか、空き店舗を活用した出店支援やビジネスモデルの転換に取り組む事業者を支援します。

VI. 安全・安心なまちづくり

通学路の安全確保を図るほか、公園は、遊具の更新・撤去など安全確保に努めるとともに、トイレの改修、照明のLED化を進めます。

また、市営住宅へのエレベーター設置、学校のトイレ改修など、環境の向上に取り組むほか、網走港の安全な利用環境を確保するため、新しいルール作りに向けた検討を進めます。

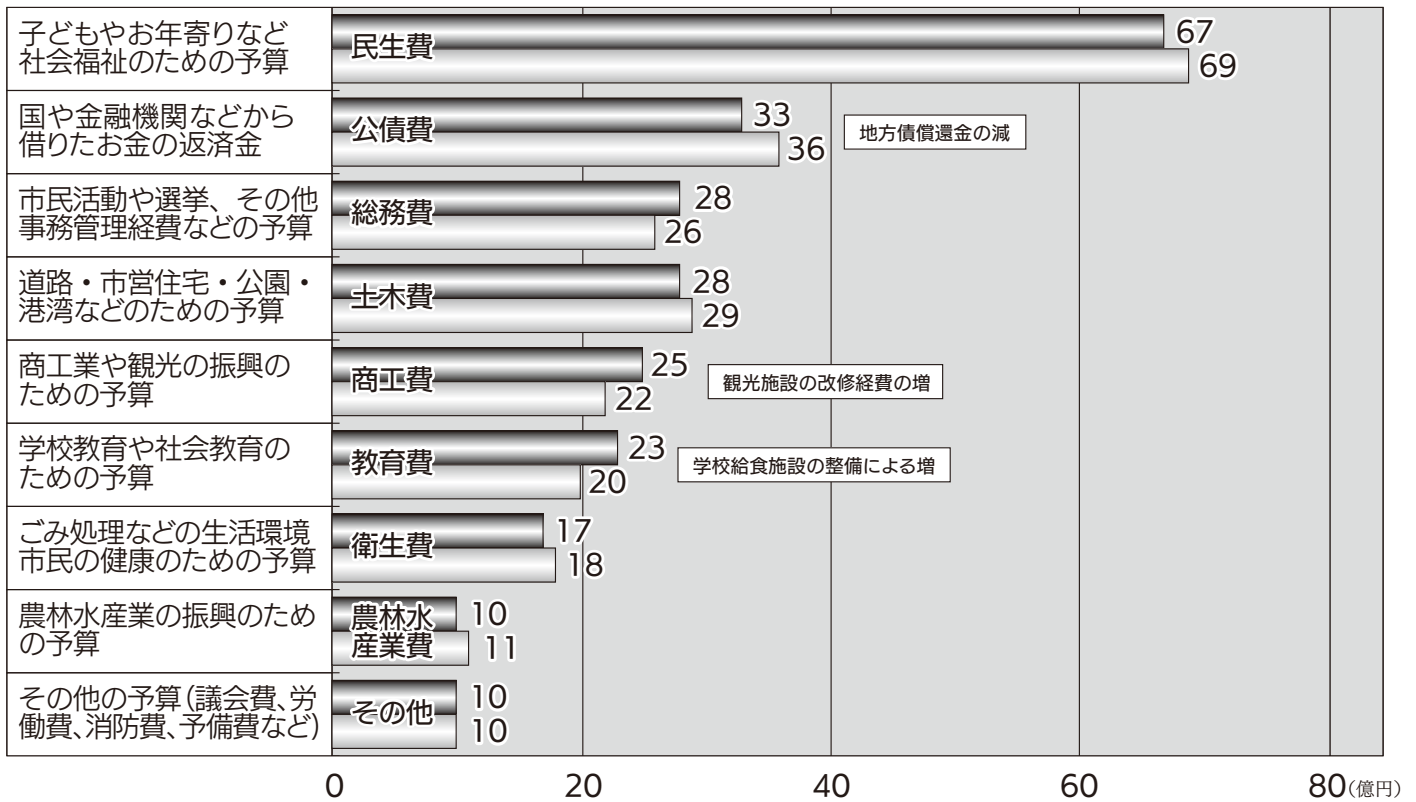
新庁舎は、基本理念の「市民に自然にやさしいスマート庁舎」を体現したものとし、建設を進めてまいります。

▼令和4年度各会計予算額

会 計 名		予 算 額	増減率 (対前年度)
一	般 会 計	240億円	△1.2%
特別会計	市 有 財 産 整 備	9,290万円	9.3%
	国 民 健 康 保 険	43億1,459万円	△0.7%
	網 走 港 整 備	10億2,171万円	△5.0%
	能 取 漁 港 整 備	2億12万円	△9.4%
	介 護 保 険	37億850万円	1.8%
	後 期 高 齢 者 医 療	6億1,914万円	2.1%
	特別会計小計	99億5,696万円	△0.2%
事業会計	水 道 事 業	21億8,987万円	11.2%
	簡 易 水 道 事 業	2億3,225万円	△8.4%
	下 水 道 事 業	26億8,940万円	0.1%
	事業会計小計	51億1,153万円	4.1%
	合 計	390億6,848万円	△0.2%

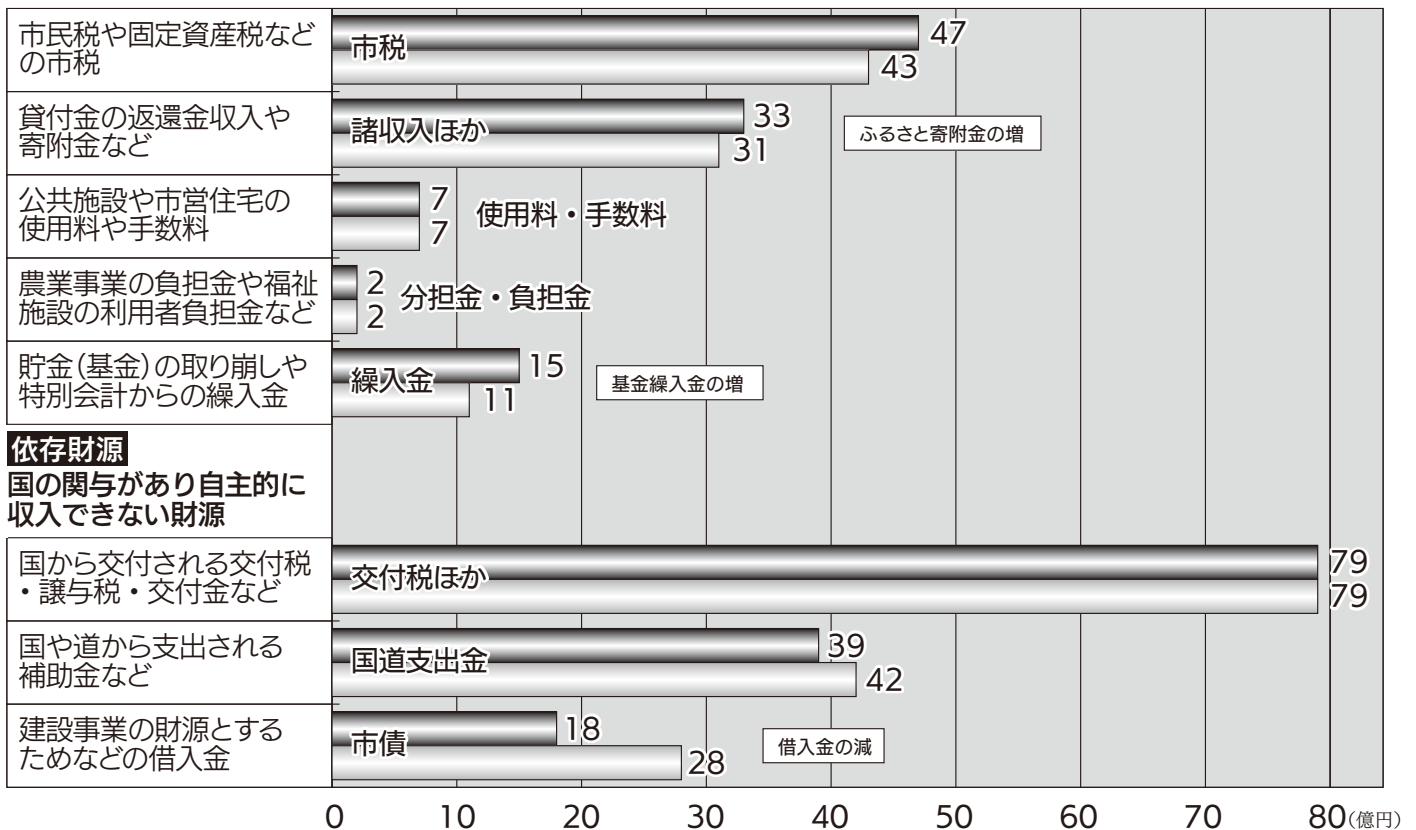
▼去年の予算と比べると

歳 出 令和4年度 令和3年度



自主財源
この割合が高いほど、自主的な財政運営が可能

歳 入 令和4年度 令和3年度



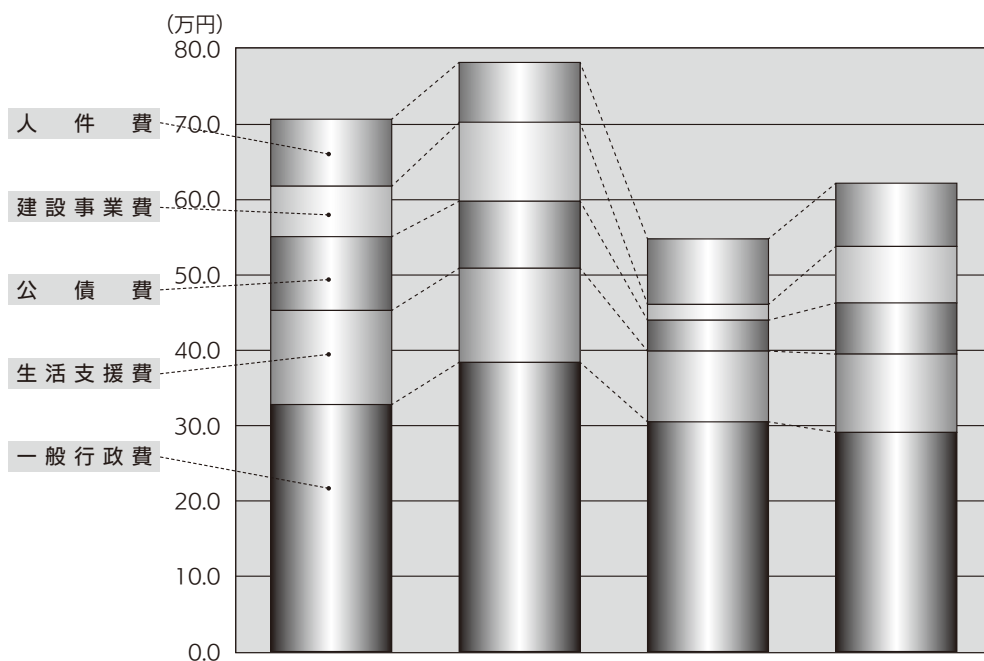
▼市民一人当たりの予算額（一般会計分）

令和4年度の市民一人当たりの予算額は、70万7千円となりました。
項目ごとの内訳は次のとおりです。

項目	金額	内容	
人件費	8万9千円	職員などの給料にかかる費用です。	
建設事業費	6万7千円	市営住宅の建設、道路、港湾の整備など社会資本整備にかかる費用です。	
借入金返済費	9万8千円	過去に借り入れた借金の返済にかかる元金と利子です。	
生活支援費	12万5千円	生活保護費、障がい者支援費など福祉や医療にかかる費用です。	
一般行政費	物件費	11万4千円	施設の光熱水費や清掃などの委託料、通信料などにかかる費用です。
	補助費等	9万円	各団体への補助金や消防組合などにかかる費用です。
	繰出金	3万7千円	国保、介護、下水道特別会計などを支援するためにかかる費用です。
	貸付金	2万9千円	中小企業を支援するための資金の貸付金などです。
	維持補修費	2万5千円	施設の維持補修、除雪などにかかる費用です。
	その他	3万3千円	緊急時の予備費と貯金への積立金などです。
	計	32万8千円	
合計	70万7千円		

▼道内の都市と比べてみました（一般会計分）

【類似都市との比較】 市民一人当たりの予算額を道内で人口規模などが類似している、稚内市、滝川市、伊達市と比較すると次のとおりとなります。



類似都市と比べて、借入金返済費が大きいことがわかります。

過去に建設事業を積極的に行った結果、借入金返済費が占める割合が高くなっています。

	網走市	稚内市	滝川市	伊達市
人件費	8.9万円	8.0万円	8.7万円	8.4万円
建設事業費	6.7万円	10.5万円	2.1万円	7.5万円
公債費	9.8万円	8.9万円	4.1万円	6.8万円
生活支援費	12.5万円	12.5万円	9.4万円	10.4万円
一般行政費	32.8万円	38.4万円	30.5万円	29.1万円
合計	70.7万円	78.3万円	54.8万円	62.2万円

市民一人ひとりが生涯を通じて健康で、安心して生きがいを持って暮らすことができ、子ども、高齢者、障がいのある方などを地域全体で支えるやさしいまちを目指します。

保健医療

【保健】

○精神保健への支援《健康推進課》

精神的な問題を抱える当事者や家族が、社会で孤立することなく地域生活の維持・向上ができるよう支援します。

- *「北海道いのちの電話」相談促進事業 28万円
- *精神保健事業 71万円

○健康診査の実施《健康推進課》

市民の健康増進のため、各種検診を行います。

充実させた取り組み

- *がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳がん・前立腺) 2,643万円
- *30代ファスト健康診査 67万円
- *肝炎ウイルス検査 8万円
- *骨粗しょう症検診 63万円

○がん検診推進の取り組み《健康推進課》

がんの早期発見、がん死亡者の減少につなげるため、子宮頸がん・乳がん検診の受診対象者にクーポン券を発行し、無料で検診を実施します。 62万円

○胃がんリスク検診の実施《健康推進課》

中学生および30歳以上の市民を対象に胃がん発症の原因とされるピロリ菌保有検査を実施します。 89万円

○母子保健の増進《健康推進課》

充実させた取り組み

- *乳幼児健診等
母と子の健康保持・増進のため、母子手帳の交付、赤ちゃん訪問、乳幼児健診、フッ素塗布などを実施します。 431万円

*妊婦健康診査

妊婦の健康保持・増進、経済的支援のため、14回の健診と6回の超音波検査費用を助成します。 1,777万円

*育児教室、母親・両親学級の開催

妊娠、出産、育児の不安を解消するため、正しい知識の普及と親同士の交流や仲間づくりを進めるとともに、父親の子育て参加を促します。 25万円

*新生児聴覚検査の実施

新生児の聴覚障がいによる音声言語発達などへの影響を最小限にとどめるため、検査費用を支援します。 82万円

充実させた取り組み

*5歳児健康相談の実施

希望する年中児を対象に、健康相談を実施します。 65万円

充実させた取り組み

*産婦健康診査

産婦の身体的回復、産後うつ予防や経済的負担の軽減を行うため、健診費用を助成します。 193万円

充実させた取り組み

*産後ケアの取り組み

産後1年までの母子を対象に、助産師などによる母親の心身のケア、育児相談・授乳指導などの費用を助成し、支援の充実を図ります。 126万円

*母子手帳アプリによるサポート

母子手帳のスマートフォンアプリを活用し、妊娠中から出産、子育て期のライフステージに合わせたサポートを実施します。 40万円

新たな取り組み

*3歳児屈折検査

3歳児健診時に弱視などを発見できるよう、屈折検査機器を導入します。 138万円

○感染症予防への取り組み《健康推進課》

*麻しん・風しん予防接種

麻しん・風しんの感染予防のため、抗体検査および予防接種に係る費用の一部を助成します。また、抗体保有率の低い世代の男性も助成対象とします。 766万円

*四種混合ワクチン接種

961万円

*結核予防接種

245万円

*エキノコックス症検査

41万円

*ツインデミック予防接種

高齢者およびこどものインフルエンザ予防接種費用の一部または全額を助成します。 3,990万円

充実させた取り組み

- * 子宮頸がん予防接種 1,639万円
- * 小児用肺炎球菌予防接種 965万円
- * ヒブ予防接種 795万円
- * 水痘予防接種 341万円

* 成人用肺炎球菌予防接種

肺炎球菌感染症予防のため、65歳以上（5歳刻み）および身体障害（内部障害）1級程度の60歳～64歳の予防接種料金の一部を助成します。
262万円

充実させた取り組み

- * 日本脳炎予防接種 1,521万円
- * B型肝炎予防接種 450万円
- * ロタウイルス予防接種 670万円

充実させた取り組み

- * 感染症対策研修会の開催
専門家による研修会を行い、新型コロナウイルス感染症などの対策に取り組みます。 61万円

○不妊治療費の助成《健康推進課》

特定不妊治療や保険が適用されない不妊治療に係る治療費の一部を助成します。 83万円

○不育症治療費の助成《健康推進課》

不育症の検査および治療を受けた場合、経費の一部を助成します。 20万円

○あばしり健康マイレージの実施《戸籍保険課》

健康関連事業に参加した30歳以上の方へポイントを付与し、基準達成者へ賞品を贈呈します。
95万円

保健医療

【地域医療・救急医療】

充実させた取り組み

○救急医療の体制づくり《健康推進課》

医師会と連携し、休日・夜間の救急医療および二次救急医療の体制を確保し、休日内科急病センターの医療体制を維持します。
また、二次救急を担う医師を確保するための経費の一部を補助します。 7,321万円

○特定疾患等患者通院交通費の助成《健康推進課》

小児慢性特定疾患を含む特定疾患等患者の通院に要する交通費の一部を助成します。 120万円

充実させた取り組み

○24時間電話健康相談サービス《健康推進課》

いつでも健康や医療、育児などの不安解消ができるよう、24時間電話健康相談サービスの実施に加え、新たにチャットボットを導入します。
579万円

充実させた取り組み

○開業医誘致推進の取り組み《健康推進課》

持続可能な医療体制の確保を図るため、新たな診療所などの開設費用の一部を助成することで、開業医の誘致を進めます。 1億10万円

○看護師・薬剤師確保対策への支援《健康推進課》

各病院が実施している奨学金制度の増額を図り、看護師および薬剤師の確保を支援します。 1,524万円

○公的病院などへの支援《健康推進課》

特別交付税措置対象の医療機関に助成します。

充実させた取り組み

* 高度医療機器整備補助

高度医療機器の整備にかかる費用の一部を助成します。 4,488万円

* 網走厚生病院小児医療等運営補助

小児医療などの安定的な診療体制を確保します。 4,800万円

* 斜網地域周産期医療への支援

斜網地域の周産期医療体制を充実させるため、北海道厚生連へ支援します。 2,220万円

○新型コロナウイルス感染症の対策《健康推進課》

* 発熱外来の開設支援

新型コロナウイルス感染症への対応として、発熱外来を開設する医療機関を支援します。 195万円

充実させた取り組み

* 感染症予防資材の整備

新型コロナウイルス感染症に関する市民周知チラシや予防対策に必要な資機材などを備蓄し、感染予防や拡大防止を図ります。 900万円

* 感染症の検査

4,584万円

○患者送迎車の運行《戸籍保険課》

市内の医療機関への無料送迎バスを運行し、無医地区住民の受診機会を確保します。 455万円

○新型コロナウイルスワクチンの接種

6,295万円



地域福祉

【地域福祉】

充実させた取り組み

- 重度心身障がい者への医療費補助《戸籍保険課》**
重度心身障がい者が自己負担する医療費を補助します。
4,710万円

新たな取り組み

- 家計改善への支援《社会福祉課》**
家計に課題を抱える生活困窮者の相談や支援を行います。
416万円

新たな取り組み

- 就労準備への支援《社会福祉課》**
生活困窮者の一般就労に向けた基礎能力形成のための支援を行います。
402万円

新たな取り組み

- 地域人権啓発活動活性化への取り組み《社会福祉課》**
園児による花植えや、小中学生へ人権標語入りクリアファイルを配布し、人権問題に対する意識啓発に取り組みます。
51万円

地域福祉

【高齢者福祉】

- 高齢者緊急通報システムの整備《介護福祉課》**
高齢者のみで暮らしている世帯などの緊急時に対応するため、ボタンを押すだけで消防署へ通報できる機器を貸与します。
514万円

充実させた取り組み

- 高齢者等除雪サービス《介護福祉課》**
除雪が困難な高齢者等世帯の避難通路を確保するため、除雪サービスを行います。
493万円

- 高齢者への総合的生活支援《介護福祉課》**
70歳以上の市民税非課税者で要件を満たす方を対象に、バス・ハイヤー乗車、施設利用、買い物代行などの生活支援、除雪、入浴に使用できる助成券を交付します。
1,928万円

新たな取り組み

- 介護フェアの開催《介護福祉課》**
中高生をはじめとする市民向けの「介護フェア」を開催し、介護への理解や関心を高めます。
65万円

充実させた取り組み

- 高齢者向けスマートフォン講座の開催《介護福祉課》**
高齢者のデジタルに対する不安や苦手意識を払拭し、慣れ親しめるよう、高齢者が集う場所に出向いて、スマートフォン講座を開催します。
0円

充実させた取り組み

- 介護サービスの推進《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
介護を必要とする方のため、在宅サービスや施設サービスなどさまざまな取り組みを行います。
33億3,228万円

充実させた取り組み

- 介護保険料負担軽減の取り組み《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
国の制度に基づき、65歳以上の低所得者の介護保険料を軽減します。
5,515万円

- 利用者負担軽減の取り組み《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
低所得者の介護サービス利用者負担を軽減します。
1,837万円

新たな取り組み

- 介護保険手続きのオンライン化《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
オンラインで介護保険に関する申請ができるようシステムを導入します。
631万円

充実させた取り組み

- 介護認定審査会のオンライン化《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
158万円

- 地域支援事業の取り組み《介護福祉課》**
《介護保険特別会計》
高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

* 要支援者の買物リハビリ支援

- 要支援者等を対象に、スーパーマーケットなどへの買物時の送迎と専門職による付き添い支援を行います。
349万円

充実させた取り組み

* 介護支援ボランティアポイントの取り組み

- 介護支援ボランティアに取り組む高齢者などを対象に、活動実績に応じてポイントを付与し、ボランティアの継続と後継者の育成を支援します。(ポイント付与対象者を18歳以上(高校生を除く)に拡大します)
176万円

*生活支援体制の整備《介護福祉課》

生活支援コーディネーターの配置と生活支援を担う多様な主体が参画する協議体を設置し、高齢者の支援体制の充実や社会参加の促進を一体的に図ります。
971万円

地域福祉

【障がい者福祉】

充実させた取り組み

○居宅介護サービスの実施《社会福祉課》

障がい者が自宅で生活する際の入浴や排せつ、食事などの介護サービスを行います。
7,188万円

充実させた取り組み

○就労継続支援の実施《社会福祉課》

一般就労が困難な人に、働く場の提供や、就労に必要な知識・能力の向上のために訓練を行います。
1億8,604万円

○障がい児福祉サービス利用の補助《社会福祉課》

障がい児福祉サービスの利用者負担を軽減します。
451万円

充実させた取り組み

○障がい基幹相談支援センターの運営《社会福祉課》

703万円

新たな取り組み

○北海道障がい者スポーツ大会の開催《社会福祉課》

「第60回北海道障がい者スポーツ大会」、「第42回北海道障がい者冬季スポーツ大会」を開催し、障がい者の体力増進、社会参加の促進を図ります。

*夏季大会 456万円

*冬季大会 150万円

新たな取り組み

○全道ろうあ者大会の開催《社会福祉課》

「第63回全道ろうあ者大会」の開催を支援し、聴覚障がい者の社会的自立とノーマライゼーション理念の浸透を促進します。
30万円



地域福祉

【子ども・子育て支援】

○子育てサポート活動《子育て支援課》

仕事や急用などでお子さんの世話ができないときにサポートする、会員制の有償相互支援活動を行います。
320万円

○児童手当の支給《子育て支援課》

次世代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの幼児・児童生徒の養育者へ児童手当を支給します。
4億225万円

○新生児子育て応援祝金の支給《子育て支援課》

お子さまの誕生のお祝いと、子育て世帯を応援するため祝金(5万円)を支給します。
1,000万円

充実させた取り組み

○地域子育て支援センターの運営《子育て支援課》

育児不安に対する相談や遊びの広場の提供、子育てサークルへの支援などを通して、地域の子育てを応援します。
1,998万円

○子どもの安心居場所づくりの取り組み《子育て支援課》

子どもたちが地域の人との触れ合いによって安心して過ごすことができる居場所づくりを進めます。
43万円

充実させた取り組み

○幼稚園・保育所・認定こども園などへの給付

《子育て支援課》

保育所や幼稚園、認定こども園など運営に係る費用を負担します。(施設型給付費) 8億8,042万円

充実させた取り組み

○幼稚園・保育園・認定こども園の質向上への取り組み《子育て支援課》

支援が必要な園児が安心して過ごせる環境づくりにむけて経費の一部を補助します。
3,336万円

充実させた取り組み

○へき地保育所の管理運営《子育て支援課》

郊外地区の子どもたちの集団保育を行うことにより、心身の健全な発達を支援します。
7,567万円

充実させた取り組み

○幼稚園型一時預かりの取り組み《子育て支援課》

子育て環境の充実のため、市内各私立幼稚園・認定こども園で一時預かりを実施します。
1,841万円

充実させた取り組み

○公立保育園の運営《子育て支援課》

市立ひまわり保育園の管理運営を行います。

7,830万円

充実させた取り組み

○認可外保育所等への給付《子育て支援課》

認可外保育所等の利用料無償化にかかる費用を負担します。 870万円

○一時保育の取り組み《子育て支援課》

緊急・一時的に保育が必要な児童へ、保育所・認定こども園にて保育を実施します。 922万円

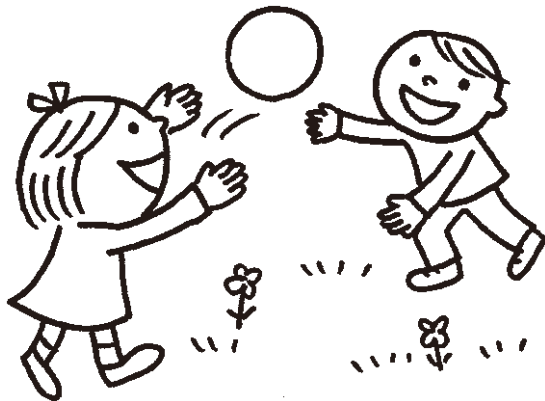
○病後児保育の取り組み《子育て支援課》

法人立認定こども園（1園）において、保育認定を受けた園児（1歳半～）と放課後クラブに登録している小学生を対象に病後児保育を実施します。 396万円

充実させた取り組み

○児童館の管理運営《子育て支援課》

健全な遊びを提供することで健康の増進などを図るとともに、共働き家庭の児童を対象に児童クラブを設置し、児童の健全育成を図ります。 6,667万円



○児童扶養手当の支給《子育て支援課》

経済的に厳しい状況におかれているひとり親家庭などに児童扶養手当を支給します。 1億5,372万円

○母子家庭等自立支援への取り組み《子育て支援課》

ひとり親家庭の親が専門的資格を取得するために必要な費用の一部を支給します。 136万円

充実させた取り組み

○ひとり親家庭等への医療費助成《子育て支援課》

ひとり親世帯の親と児童の健康保持および福祉の増進を図るため、自己負担分医療費の全額または一部を助成します。（8月から、中学生までは無料） 2,656万円

充実させた取り組み

○こども医療費の助成《子育て支援課》

中学生までのこどもの医療費の全額または一部を助成します。（8月からは無料） 1億3,565万円

	年齢区分	自己負担（～7月）	自己負担（8月～）
通院 歯科 調剤	3歳まで	無料	無料
	小学校入学前	非課税：無料	
		課税：1割負担	
小中学生	1割負担		
入院	中学生まで	無料	

※高校生等から数えて第3子目以降は無料

○子育て世代包括支援センターの運営

《子育て支援課》

妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない総合的な相談支援を行います。 672万円

新たな取り組み

○児童福祉手続きのオンライン化《子育て支援課》

オンラインで子育て支援に関する申請ができるようにシステムを導入します。 783万円

生活福祉

【社会保障】

○各検診への助成《戸籍保険課》

《国民健康保険特別会計》

国保被保険者を対象に人間ドック、脳ドック、がん検診の費用の一部を助成します。 1,642万円



○脳ドック助成《戸籍保険課》

《後期高齢者医療特別会計》

後期高齢者を対象に脳ドック検査の費用の一部を助成します。 179万円

豊かな自然環境と水と緑が織りなす美しい景観を次代に継承し、自然と調和した快適な生活環境の創出を図るとともに、市民の命と暮らしを守る安全・安心なまちを目指します。

都市空間

【土地利用】

新たな取り組み

○公園トイレの洋式化《都市管理課》

運動公園や潮見公園、駒場公園の和式トイレの一部を洋式化します。 510万円

充実させた取り組み

○公園遊具の点検《都市管理課》

公園遊具の安全を確保するため、定期点検を行います。 330万円

充実させた取り組み

○公園遊具安全対策《都市管理課》

老朽化した遊具の撤去を行います。 300万円

新たな取り組み

○公園照明のLED化《都市管理課》

22か所の公園の照明をLED灯に更新します。 900万円

新たな取り組み

○公園施設の改修《都市整備課》

駒場公園、潮見公園、ふれあい公園の老朽化した遊具と、スポーツ・トレーニングフィールドのラグビーポールおよび野球場のスタンドベンチを改修します。 1億9,800万円

○河川の整備《都市管理課》

市が管理する河川の浚渫および護岸などの河川環境の整備を行います。 8,000万円

都市基盤

【道路】

充実させた取り組み

○市道などの維持管理《都市管理課》

市道などの舗装補修や道路照明、街路樹の維持管理を行います。 1億4,339万円

充実させた取り組み

○道路維持作業車の更新《都市管理課》

4トンユニック車を更新します。 23万円
(総事業費 2,147万円)

充実させた取り組み

○市道の整備《都市整備課》

未舗装道路の舗装化や安心安全な道路整備を計画的に行います。 7,300万円

○市道の改修《都市整備課》

老朽化した道路、側溝などの改修を緊急度に応じ て計画的に行います。 1億円

充実させた取り組み

○通学路の安全対策《都市整備課》

通学路の安全を確保するため、歩道新設・改修工 事を行います。 1億6,600万円

○郊外道路の整備《都市整備課》

スクールバスや農業用車輛の安全な通行を確保す るため、郊外地域の未舗装道路の舗装化を行います。 9,400万円

充実させた取り組み

○のり面の崩壊・落石改修《都市整備課》

崩壊・落石の恐れがある道路のり面の改修工事を 行います。 1億5,000万円

充実させた取り組み

○橋梁の長寿命化への取り組み《都市整備課》

道路交通の安全を確保するとともに橋梁の長寿命 化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕 を行います。 1億2,850万円

充実させた取り組み

○網走小学校丙線の整備《都市整備課》

災害時の避難路である網走小学校丙線の階段を整 備します。 8,000万円

○市道などの冬道対策《都市管理課》

充実させた取り組み

*市道などの除雪

4億1,463万円

*ロードヒーティングの維持・管理

9,200万円

充実させた取り組み

*除雪車の更新

小型除雪ロータリを更新します。

2,710万円

○ロードヒーティングの更新《都市整備課》

老朽化したロードヒーティング施設を更新します。

3,000万円

都市基盤

【港湾・漁港】

充実させた取り組み

○レイクサイドパーク・のとの管理運営
《水産漁港課》

利用者へのサービス向上を図るためパークゴルフ場のコース改修などを行いながら、施設を管理・運営します。

1,380万円

充実させた取り組み

○漁港の管理運営《水産漁港課》

漁港利用の安全確保、利便性の向上をはかり、漁港やボートヤードの適正な維持管理を行います。

192万円

新たな取り組み

○港湾安全利用への取り組み《港湾課》

網走港の安全な利用環境を確保するために、新しいルール作りに向けて取り組みます。

390万円

○みなと観光交流センターの魅力向上への取り組み
《港湾課》

みなと観光交流センターに試験的に農産物の直売所を開設し、魅力の向上を図ります。

350万円



都市基盤

【公共交通】

○公共交通運転手確保の支援《商工労働課》

公共交通事業者が運転手を養成するために行う、第二種運転免許などの取得支援に係る費用の一部を助成します。

80万円

○JR北海道利用促進への取り組み《商工労働課》

住民のマイレール意識の醸成及び利用促進を図るため、園児の汽車遠足、家族・グループの小旅行、中学校・高校の部活動などに対して乗車運賃などを助成します。

135万円

○JR北海道賑わい創出への取り組み《商工労働課》

市民団体などによる自発的な活動に要する費用の一部を助成し、鉄道の賑わいの創出や利用促進に取り組みます。

51万円

○釧網本線利活用推進の取り組み《商工労働課》

釧網本線の沿線自治体などと協力し、事業者とともに、釧網本線の観光利用促進に取り組みます。

85万円

充実させた取り組み

○デマンドバス運行に向けての実証実験《商工労働課》

持続可能な公共交通の構築に向けてオンデマンドバス運行の実証実験に取り組みます。

3,000万円

都市基盤

【通信】

充実させた取り組み

○郊外地区の光回線の管理《情報政策課》

郊外地区にある光回線設備の維持管理を行います。

1,511万円

新たな取り組み

○公衆フリー wi-fi環境の設備《情報政策課》

地域のデジタル化を推進するために、公共施設にフリー wi-fiを設備します。

2,565万円

生活安全

【防災減災】

○国が行う港湾事業の負担金《港湾課》

国が行う南防波堤施設の整備費の一部を負担します。

8,970万円

充実させた取り組み

○岸壁付帯施設の更新《港湾課》

老朽化した岸壁付帯施設の更新を行います。

1億5,600万円

生活安全

【生活安全】

○高齢者の運転免許自主返納の促進《市民活動推進課》
令和3年4月1日以降に運転免許を自主返納した満75歳以上の方へ市内公共交通利用券（1万円分）を交付し、運転免許の自主返納を促します。
163万円

○防犯灯の管理《市民活動推進課》
町内会連合会および地区連合町内会の協力のもと、市内防犯灯の維持管理を図ります。
1,399万円

○消費生活相談窓口の開設《市民活動推進課》
消費者相談室を開設し、消費生活トラブルの相談受付や、消費生活に関する情報を提供します。
271万円

充実させた取り組み

○市民相談窓口の開設《市民活動推進課》
弁護士による市民の無料法律相談を行います。
19万円

新たな取り組み

○FMあばしり弱電界地域解消への支援《総務防災課》
災害などの緊急時に割り込み放送するFMあばしりの電波が弱い地域を解消するために行う送信所の移設を支援します。
896万円

○災害への備え《総務防災課》
* 地域防災訓練の実施
地域団体などと連携し、地域の特性に応じた防災訓練や研修を行います。
25万円

充実させた取り組み

* 防災備蓄品の整備
災害時に避難所となる小中学校に備蓄している食料や備品を整備します。
245万円

充実させた取り組み

○消防機能の強化《消防》
高規格救急自動車および救急資機材一式を更新します。
4,235万円

環境

【自然環境】

○環境保全への取り組み《生活環境課》
* 瀧沸湖水鳥・湿地センターの管理運営
ラムサール条約登録湿地である瀧沸湖における環境学習・保全調査の拠点施設の管理運営を担い、利用促進を図ります。
932万円

新たな取り組み

* 瀧沸湖水鳥・湿地センター開館10周年記念の取り組み《生活環境課》
開館10周年を記念して講演会や観察会などを開催します。
69万円

充実させた取り組み

* 瀧沸湖環境保全活用ビジョンの改定 126万円

○花いっぱいのもちづくりの推進《市民活動推進課》
町内会などへ花苗を提供し、花いっぱいのもちづくりの推進を図ります。
300万円

環境

【資源循環】

新たな取り組み

○地域新電力会社の設立《企画調整課》
再生可能エネルギーの地産地消に取り組む新電力会社を設立し、脱炭素の推進を図ります。
1,040万円

新たな取り組み

○廃棄物処理の検討《生活環境課》
廃棄物の中間処理の広域化と新たな最終処分場の整備に向けた検討を行います。
1,389万円

充実させた取り組み

○廃棄物減量化への取り組み《生活環境課》
廃棄物の減量化に向けて一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。またコンポストなどの購入助成を行い、生ごみの減量化に取り組めます。
70万円

○埋立処分場延命への取り組み《生活環境課》
紙おむつなどを大空町の焼却施設で中間処理することで、埋立処分場の延命を図ります。
* 大空町への処理負担金 2,000万円
* おむつなどの運搬 880万円

充実させた取り組み

○ごみ出しガイドブックの全戸配布《生活環境課》
新型コロナウイルス感染症に対応したごみ出しガイドブックの改訂版を全戸配布します。
290万円

新たな取り組み

○ごみ処理理解促進への取り組み《生活環境課》
廃棄物の減量化に向けた啓発に取り組むとともに、町内会連合会と連携しごみ処理施設見学会を行います。
200万円

新たな取り組み

○地域再生可能エネルギー導入への取り組み《生活環境課》
地域再生エネルギー導入戦略を策定し、「グリーンなまち」の実現を目指します。
960万円

生活基盤

【住宅・宅地】

○住環境改善への支援《建築課》
長寿命化、省エネ、バリアフリーなどの改修に要する費用の一部を補助します。 1,800万円

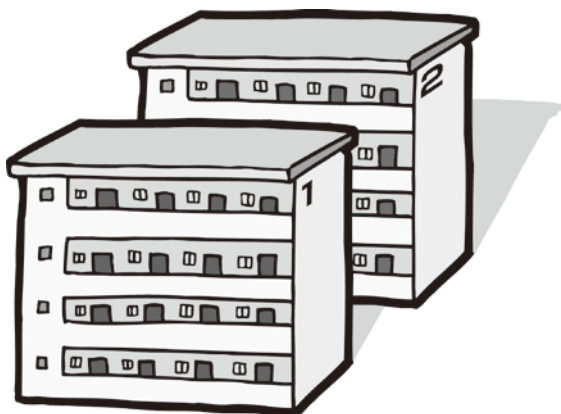
○危険空き家減少化への取り組み《建築課》
旧耐震建築住宅の解体および特定空き家の解体に要する費用の一部を助成します。 340万円

充実させた取り組み

○市営住宅建築への取り組み《建築課》
潮見団地建替えに向けて敷地造成、および子育て世帯向けの1戸建ての市営住宅(5戸)を建築します。 2億6,172万円

充実させた取り組み

○市営住宅長寿命化への取り組み《建築課》
つくしヶ丘団地のエレベーター整備などに取り組みます。 5,600万円



生活基盤

【上水道】

○水道施設の設備《上水道課》
《水道事業会計》

充実させた取り組み

* 導水管布設替 4億2,300万円
稲富地区・東藻琴西倉地区の導水管を布設替えます。

充実させた取り組み

* 配水管布設 4,400万円
* 配水管布設替 道路工事関連 8地区
漏水防止対策 4地区
1億3,992万円

充実させた取り組み

* その他施設整備

河川改修に伴い導水管の一部を移設します。また、既設導水管の防護や機器類の更新、水道メーターの更新や設置工事を行います。 2億8,129万円

○簡易水道施設の設備《上水道課》
《簡易水道事業会計》

* 稲富地区の配水管布設替

道道網走川湯線の道路改良工事にあわせて配水管を布設替えます。 5,030万円

生活基盤

【生活排水処理】

○下水道施設の整備《下水道課》

* 浄化センター等の施設整備 2億2,000万円

老朽化した浄化センターとスラッジセンターの機械設備などを更新します



充実させた取り組み

* 汚水管渠の施設整備 6,900万円
ポンプ場などの老朽化した電気設備を更新します。

充実させた取り組み

* 圧送管の二条化 1億1,300万円
呼人地区の圧送管を計画的に二条化(複線化)します。

充実させた取り組み

* 枝線の整備、公共樹の設置 5,400万円

○下水道計画区域外の排水処理《下水道課》

トイレの水洗化と生活雑排水の処理を併せてできる「合併処理浄化槽」を整備します。 2,040万円

生活基盤

【火葬場・墓地】

充実させた取り組み

○火葬場の管理運営《生活環境課》
火葬場、火葬炉津美の維持管理を行います。 2,410万円

地域特性を活かしつつ、経営の効率化や高付加価値化などを進め、安全・安心で力強い産業振興を図りながら、まちの魅力を創出し、人が集い、にぎわいのある活力あふれるまちを目指します。

農林業

【農業】

- 卵原内ダムの管理《農林課》
 - * 管理事業 2,288万円
 - * ダム付帯施設の土砂の撤去 664万円
 - * ダム設備の改修 876万円
管理棟の合併浄化槽の設置、高圧コンデンサーおよびポンプ場の高圧受電設備の改修、ダム内に蓄積している土砂などの撤去を行います。
- 斜網地区ダムの管理《農林課》
 - * 管理事業 760万円
 - * 小水力発電事業 784万円
ダムを活用した小水力発電施設を1市4町で整備します。
- 道営土地改良の補助《農林課》
道が行う農地改良の費用を一部負担します。
(西部川向：7,440万円、平和：4,080万円、南部東第2：9,000万円、南部西第2：8,000万円)
2億8,520万円
- 安全・安心な農作物の生産への補助《農林課》
農業経営の安定化と農作物の安全・安心を確保するため、農協が実施する土壌分析と残留農薬分析にかかる費用の一部を助成します。 185万円
- ジャガイモシロシストセンチュウの緊急防除《農林課》
国の緊急防除の指定を受けたジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止対策を行います。 202万円
- もち麦栽培の促進《農林課》
機能性もち麦の産地形成に協力する農業者に対し、その費用の一部を助成します。 174万円
- オホーツク産麦類消費拡大への取り組み《農林課》
地元産麦類の消費拡大を図るため、食のイベントを開催します。 24万円

新たな取り組み

- あばしり和牛優良血統形成への取り組み《農林課》
あばしり和牛の優良繁殖雌牛の導入およびゲノム検査にかかる費用の一部を支援します。 138万円
- 農業農村多面的機能発揮促進への取り組み《農林課》
農業・農村での農地維持や資質向上を発揮する地域活動などを支援します。 1億5,396万円
- 農業担い手実践研修への支援《農林課》
農業経営者や新規就農者を対象に優れた農業経営や地域リーダー育成を図る研修の開催費用の一部を助成します。 250万円

農林業

【林業】

充実させた取り組み

- 鳥獣害防止対策の取り組み《農林課》
エゾシカなど農作物に被害をもたらす有害鳥獣の被害防止対策を行います。 642万円
- ヒグマ生息実態調査の実施《農林課》
ヒグマの被害を未然に防ぐ対策を講じるため、ヒグマの生息実態を調査します。 90万円

充実させた取り組み

- 森林整備への補助《農林課》
私有林の造林や除間伐、下刈などに対する助成を行い、森林の適切な管理を推進します。 2,466万円
- 市有林の整備《農林課》
市有林の植林から保育に至る一貫した造林事業を計画的に実施します。 1,593万円

新たな取り組み

- 緑町治山排水路の補修《農林課》 150万円
- こまば木のひろばの管理《農林課》
こまば木のひろばの適切な施設維持管理にむけて、休憩舎のトイレ改修などを行います。 559万円

水産業

【漁業】

○さけ・オホーツクサーモン資源の安定化

《水産漁港課》

さけ・オホーツクサーモン（カラフトマス）の稚魚の分布や成育調査に対する支援を行い、資源の安定化を図ります。 115万円

○能取湖水質・資源調査の実施《水産漁港課》

能取湖の漁業安定化のために湖内環境および漁業資源に関する調査を支援します。 250万円

○ウニ養殖試験調査の実施《水産漁港課》

ウニカゴ養殖試験に対する支援を行い漁業生産の安定化を目指します。 119万円

○濤沸湖シジミ種苗生産などへの支援《水産漁港課》

シジミ漁業の安定化を図るため、シジミ種苗生産技術の開発と、放流調査を支援します。 83万円

○網走湖ヤマトシジミ資源回復への支援《水産漁港課》

網走湖のシジミ資源の回復に向けた取り組みを支援します。 50万円

○網走湖水質・資源調査の実施《水産漁港課》

網走湖の漁業安定化のために湖内環境および漁業資源に関する調査を支援します。 250万円

新たな取り組み

○水産資源量調査デジタル化への支援《水産漁港課》

デジタル技術を活用したホタテ資源漁および漁場状況調査を支援します。 90万円

水産業

【水産加工・販売促進】

○外国人技能実習生の受け入れ支援《水産漁港課》

外国人技能実習生が技能検定等を受験する際の受験料や、入国時研修にかかる費用の一部を補助します。 89万円

充実させた取り組み

○地場水産物のPRの取り組み

《水産漁港課》

市とゆかりのある企業や団体のほか、市内小中学校、農大に地場水産物を提供し、網走の海の幸のPRと普及促進を図ります。 206万円

○水産業パワーアップへの支援《水産漁港課》

企業や団体が行う網走産水産物のブランド化や販路拡大に向けた取り組みを支援します。 50万円

観光

【観光】

充実させた取り組み

○天都山周辺の花園整備《観光課》

ボランティア活動により天都山周辺花園を整備し、観光客の誘客促進を図ります。 534万円

新たな取り組み

○サンゴ草群生地への堤防整備《観光課》

サンゴ草群生地内の堤防を補強し、群生地の維持・保全を図ります。 970万円

充実させた取り組み

○地域資源活用型観光への補助《観光課》

地域資源を活用したアドベンチャーツーリズムの推進と人材の育成に向けて補助を行い、コンテンツの開発や販路の拡大を図ります。 970万円

充実させた取り組み

○オホーツク流水館の展示物改修《観光課》

地階の展示物を改修して、入館者数の回復を図ります。 1億1,300万円

新たな取り組み

○デジタルを活用した周遊観光促進の取り組み

《観光課》

スマートフォンアプリを活用したデジタルスタンプラリーを実施し、観光客の誘致を図ります。 220万円

充実させた取り組み

○女満別空港の利用促進への取り組み《観光課》

効果的なデジタルプロモーションなどを行い、女満別空港の利用促進を図ります。 500万円

充実させた取り組み

○外国人観光客受入施設などへの支援《観光課》

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光関連事業者に対して、営業継続の支援を行います。 3,600万円

新たな取り組み

○観光WEBサイトの刷新、PR動画の作製《観光課》

観光WEBサイト「おいしいまち網走」の刷新と、新たなPR動画を作製し、デジタルを活用したプロモーションを推進します。 3,500万円

新たな取り組み

○観光のデジタルマーケティング《観光課》

新たに作製するPR動画を活用した広告の配信やそれに伴うアクセスの解析などに取り組みます。 1,400万円

充実させた取り組み

○地域DMOの取り組みへの支援《観光課》

魅力的な観光地づくりに向けて、網走市をエリアとする地域DMOの取り組みを支援します。

2,165万円

充実させた取り組み

○天空の里魅力発信・活性化への取り組み《観光課》

エリア内の事業者と連携し、天都山周辺の賑わい創出と活性化を図ります。

272万円

○外国人観光客へのインフォメーション《観光課》

外国人観光客に向け、案内業務、外国語ブログやツイッターなどを活用して観光情報を発信します。

591万円

充実させた取り組み

○教育旅行誘致への取り組み《観光課》

道内の小中学校や道外の高校の教育旅行を誘致するためのプロモーションを実施します。

30万円

○サイクルアドベンチャーオホーツクの取り組み

《観光課》

北見市、大空町、小清水町、美幌町と連携し、サイクルイベントやツアー造成の実施、食、景観、体験等を通じた、オホーツク地域のブランド化を図ります。

300万円

○オホーツク網走マラソン開催負担金《観光課》

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、オホーツク網走マラソン2022を開催します。

1,330万円

○オホーツクシートゥーサミットの開催《観光課》

アドベンチャートラベルのフィールドとしての認知度向上を図るとともに、小清水町および㈱モンベルとの連携により地域における新たなコンテンツを取り入れながら、観光客の誘客促進を図ります。

300万円



○施設巡り観光バスの運行《観光課》

観光客の利便性向上のため、閑散期に観光施設を巡るバス路線の運行委託を行い、通年運行の体制を整えます。

270万円

充実させた取り組み

○宿泊事業者への営業継続支援《観光課》

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた宿泊業者に対し、支援金を給付し、営業継続を支援します。

1,360万円

充実させた取り組み

○鉄道を活用した誘客促進への取り組み《観光課》

JR北海道が販売する「ひがし北海道フリーパス」を利用した宿泊者の旅費の一部を助成します。

116万円

○イベントなどへの支援《観光課・商工労働課》

- * あばしりオホーツク流氷まつり 790万円
- * あばしりオホーツク夏まつり 212万円
- * 夏まつり花火大会 200万円
- * あばしり七福神まつり 205万円
- * オホーツク屋台村 18万円
- * さんご草まつり 54万円

商工業

【商工業】

○中小企業人材育成への支援《商工労働課》

中小企業大学校で開催される講座・研修会の受講料を助成します。

52万円

新たな取り組み

○中小企業のデジタル化推進への支援《商工労働課》

中小企業などのデジタル化にかかるプラットフォーム機能および推進に向けた取り組みを支援します。

400万円

○融資制度の充実《商工労働課》

中小企業者等に対する円滑な金融支援を行います。

- * 一般資金貸付 7億8,557万円
- * 店舗改善資金貸付 160万円
- * 工場等進出資金貸付 250万円
- * 経営安定資金貸付 3,640万円
- * 起業化等資金貸付 1,750万円
- * 中小企業融資保証料補給補助 1,000万円

充実させた取り組み

○空き店舗・空き地活用の支援《商工労働課》

中心市街地の空き店舗や空き地を活用して出店する者などに対し、店舗改修および一定期間の家賃の一部を支援します。

332万円

新たな取り組み

- コワーキングスペース整備への支援《商工労働課》
リモートワークなどに対応した拠点として、まちづくり会社が取り組むコワーキングスペースの整備を支援します。 820万円
- 官民連携公有地などの利活用《商工労働課》
網走刑務所の未利用地などの有効活用を図るため、市内事業者などと連携して事業を実施するとともに、共用部分の整備などを支援します。 278万円

産業振興

【産業振興】

充実させた取り組み

- ものづくりへの総合的支援《商工労働課》
企業等が行う新商品開発などを総合的に支援します。 430万円
 - * 事業化等スタートアップ支援事業
新たに取り組む事業の初期段階を支援します。
 - * 新製品創出支援事業補助金
中小企業者等が行う、新製品の創出や新たな商品開発に関する取り組みを支援します。
 - * 製品パッケージ改良等サポート事業
製品の内容やパッケージなどに関する改良に対し支援します。
 - * 地場特産品付加価値向上事業
地場特産品の付加価値を高めるために行う加工・研究・調査に係る経費の一部を支援します。



充実させた取り組み

- 「おいしいまち網走」のPR《商工労働課》
市外在住者からのふるさと寄附へ特産品などの特典を贈呈することで、網走の魅力や商品のPRを行います。 10億円
- 地場産品市場開拓推進への支援《商工労働課》
交流都市で物産PRを行うほか、大都市圏で開催する商談会への出展補助などを行い、地場産品の販路拡大を図ります。 95万円
- 起業化への支援《商工労働課》
新たに事業を起こそうとする方へ、店舗の取得・改修に要する経費の一部を助成します。 200万円

産業振興

【就労対策】

充実させた取り組み

- 女性・高齢者就労支援への取り組み《商工労働課》
女性の起業家やテレワークなどのセミナーを開催するとともに、高齢者まで幅広く対象とした就職説明会を開催します。 60万円



新たな取り組み

- 若者の就業定着への取り組み《商工労働課》
市内に新規就職された20歳代の方に対し、奨励金(5万円)を給付し、若者の地元定着を図ります。 500万円
- 建築技能者等地域定着促進の取り組み《商工労働課》
地域における、建築関連技能技術者の人材の確保・養成の取り組みに対して助成します。 345万円
- 就業や創業する移住者への支援《商工労働課》
東京圏から就業や創業を行うことを前提に移住する方に対し、移住に係る経費の助成を行います。 100万円

充実させた取り組み

- 建築技能者の人材確保の取り組み《商工労働課》
網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会が行う就学支援金制度利用者を通年で雇用する事業者を支援します。 120万円
- 若者技能者の人材育成、地元定着への支援《商工労働課》
社会インフラを担う若者技能者の人材育成と、地元定着に取り組む事業者を支援します。 200万円

新たな取り組み

- 勤労者総合福祉センター予約のオンライン化《商工労働課》
システムを導入し、施設の利用予約をオンライン化します。 93万円

充実させた取り組み

- 勤労者総合福祉センターの改修工事《商工労働課》
施設の照明をLED化するなど、施設の改修工事を行います。 550万円

子どもたち一人ひとりの夢を大切にしながら、明日を拓く「生きる力」を育むとともに、誰もが生涯を通じて学習、文化、芸術、スポーツに親しむことができ、スポーツや文化など地域特性を活かした様々な交流により、豊かな人間性を育むまちを目指します。

学校教育

【学校づくり】

○学力向上に向けた取り組み《学校教育課》
児童生徒の学力向上に向けた取り組みを進めます。

- * 学習支援員の配置 1,754万円
- * あばしり寺子屋の開催 6万円
- * 読書感想文コンクールの開催 33万円

充実させた取り組み

○小中学校教材教具の整備《学校教育課》
* 地域体験活動
社会形成に必要な能力を育むために、地域の体験活動の充実を図ります。 150万円

○小中学校図書館の整備・推進《学校教育課》
* 図書館司書の配置 912万円
* 図書館図書の本整備 500万円

○英語指導助手（ALT）の配置《学校教育課》
海外からの英語指導助手を招へいし、小中学校での英語授業の補助、特別活動や課外授業を通じて、英語教育の充実と国際理解教育を進めます。 895万円

充実させた取り組み

○経年劣化した教員住宅の改修《学校教育課》 682万円

充実させた取り組み

○経年劣化した教員住宅の解体《学校教育課》 657万円

充実させた取り組み

○スクールバスボックスの撤去《学校教育課》 350万円

学校教育

【学校教育】

○部活動指導員の配置《学校教育課》
部活動指導員を配置し、活動の充実と教職員の負担を軽減します。 151万円

充実させた取り組み

○教育相談カウンセラーの配置《学校教育課》
専門的な知識を持つカウンセラーを配置し、児童生徒が相談できる機会を増やすことで、きめ細かな指導による問題の早期発見、解消に努めます。 296万円

充実させた取り組み

○小中学校トイレの改修《学校教育課》
南小学校、第一中学校、第二中学校のトイレを改修します。 3億7763万円

充実させた取り組み

○学校遊具の更新《学校教育課》 630万円

充実させた取り組み

○小中学校管理運営費《学校教育課》
* メッセージ応答電話機の設置 139万円
* 専門業者による小中学校のトイレ清掃 193万円

充実させた取り組み

○小中学校設備の改修《学校教育課》
* 保健室へのエアコン設置 1,730万円
* 潮見小学校の受電設備の改修 4,300万円
* 第五中学校暖房設備の改修 1,580万円
* 第二中学校屋体屋根の改修 4,928万円
* 第五中学校屋上の防水改修 3,650万円

新たな取り組み

○学校給食の施設整備《学校教育課》
学校給食を、継続して安定的に提供できるよう、給食調理場を集約します。 1億4,550万円

充実させた取り組み

○学校給食施設の改修《学校教育課》
* 桂ヶ岡共同調理場グリストラップの改修 200万円
* 第五中学校給食用昇降機の改修 110万円

新たな取り組み

○小中学校デジタル環境の整備《学校教育課》
授業用のデジタル機器を整備します。 377万円

新たな取り組み

○小中学校電子黒板の整備《学校教育課》
ICT教育の充実にむけて、授業用の電子黒板を整備します。 9,307万円

新たな取り組み

○小中学校デジタル教材の整備《学校教育課》
指導者用デジタル教科書、ドリルなどを整備します。 655万円

充実させた取り組み

- 小中学校教員用パソコンの整備《学校教育課》
2,009万円
- 小中学校貸出用通信機器の管理《学校教育課》
臨時休校などに備えて、インターネット環境が整っていない児童生徒へ貸し出す機器の通信費用を負担します。
444万円

充実させた取り組み

- 小中学校の就学支援《学校教育課》
準要保護世帯などに対し、一人一台端末の持ち帰りにかかる通信費の一部を支援します。
4,034万円

充実させた取り組み

- 小中学校の感染症予防の支援《学校教育課》
小中学校の感染症対策や研修の支援を行います。
1,395万円

充実させた取り組み

- 特別支援教育支援員の配置《学校教育課》
通常学級や特別支援学級に在籍する、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動上のサポートを行う支援員を配置します。
4,503万円

- 中学校体育文化活動の支援《学校教育課》
中学校の体育文化活動として大会、コンクールなどの参加を支援します。
1,100万円

学校教育

【高等学校・高等教育】

- 東京農業大学学生確保対策への支援《企画調整課》
農大と相互協力協定などを締結している高校、交流都市、および市内からの入学者の経済的負担を軽減するため、入学費用の一部を支援します。
200万円

新たな取り組み

- 高大連携学生確保対策への支援《企画調整課》
農大の入学者確保を図るため、関西圏の高校と連携して行う教育プログラムを支援します。
50万円

新たな取り組み

- 学生の商品開発への支援《企画調整課》
大学生や高校生などが行う商品開発の取り組みを支援します。
150万円

- 日体大高等支援学校入学者への支援《企画調整課》
保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学費用の一部を支援します。
600万円

新たな取り組み

- 日体大高等支援学校の環境整備への支援《企画調整課》
特別支援教育の充実を図るため、日体大高等支援学校の教材・教具、実習教育等に要する経費の一部を支援します。
300万円

新たな取り組み

- 日体大高等支援学校生徒確保への支援《企画調整課》
特別支援教育の推進を図るため、日体大高等支援学校が行う生徒確保対策に要する経費の一部を支援します。
5,200万円

充実させた取り組み

- 大学の給付型奨学金《学校教育課》
市民寄付を活用し、社会的に有益な活動を目指す大学進学予定者に、給付型奨学金を支給します。
610万円

社会教育

【生涯学習】

充実させた取り組み

- 電子図書閲覧・検索性タブレットの整備《図書館》
28万円

- 電子図書の整備《図書館》
電子図書館のデジタル書籍を増やします。
125万円

- 博物館特別企画展の開催《博物館》
「昭和初期の網走展」「網走のチョウのなかまたち展」を開催します。
59万円

社会教育

【社会教育】

充実させた取り組み

- オホーツク・文化交流センターの改修《社会教育課》
*館内空調等監視システムの更新 2,600万円
*ワイヤレスマイク設備の更新 500万円
*エコーホールの吊物機構の更新 3,400万円

新たな取り組み

- オホーツク・文化交流センター予約のオンライン化《社会教育課》
施設の利用をオンラインで予約できるようにシステムを導入します。
457万円

充実させた取り組み

- 放課後子ども教室の取り組み《社会教育課》
小学生を対象に放課後や週末に勉強やスポーツ・文化活動、交流体験活動ができる場を提供します。
679万円

- 地域で子どもを育てる仕組みづくり《社会教育課》
学校での教育活動を市民ボランティアが支える「学校支援地域本部」の取り組みを進め、教育の充実と地域で子どもを育てる体制を整えます。
126万円

○子どもの夢育の取り組み《社会教育課》
中学生を対象に夢や人生などをテーマにした講演
を開催します。 105万円

○「あばしり学」講座の開催《社会教育課》
網走の魅力・価値を発見、再確認し、未来を創造
できるよう、自然・文化・歴史・経済・産業などさ
まざまな学びを展開します。 29万円

文化

【芸術文化】

○芸術文化合宿への支援《社会教育課》
芸術文化大団体や大学などが行う、市内での合宿
活動や市内芸術文化関係者との交流活動を支援しま
す。 50万円

○各種芸術文化公演の開催《社会教育課》
市民の企画提案を受け入れながら、さまざまな芸
術文化公演の鑑賞機会を提供します。 534万円

充実させた取り組み

○ふるさとアーティスト講演の開催《社会教育課》
網走市にゆかりのある多彩なアーティストの発表
の場を提供し、市民との交流を深めることで、優れ
た芸術家たちの活動拠点となるような環境づくりを
目指します。 350万円

新たな取り組み

○美術館開館50周年記念展示の開催《美術館》
開館50周年を記念して、「近代西洋絵画名作展」、
「海洋堂・エヴァンゲリオン展」、「長谷川誠展」を
開催します。 1,436万円

○美術館企画展の開催《美術館》
「現代美術作家展」「北海道書道展移動展」「写真
道展移動展」を開催します。 109万円

○若手アーティストの応援《美術館》
若手アーティストの作品を収集し、公共施設など
に展示します。 38万円

充実させた取り組み

○美術館の改修《美術館》
多目的トイレ、排煙口、高圧受電設備の改修や照
明のLED化を行います。 1,200万円

文化

【文化財保護】

充実させた取り組み

○市史発行にむけた取り組み《総務防災課》
「新・網走市史(仮)」の発行に向け、資料の収集
整理や執筆をします。 1,142万円

○モヨロカレッジの開講《博物館》
モヨロ貝塚について学べる講演会や体験学習会を
開講します。 103万円

充実させた取り組み

○博物館の改修《博物館》
国登録有形文化財である博物館の建物を修理します。
4,750万円

スポーツ

【スポーツ】

○スポーツ大会出場への支援《スポーツ課》
全道・全国・国際大会に出場するスポーツ団体・
個人に対して支援を行います。 195万円

○スポーツ合宿の誘致・受入《スポーツ課》 950万円

○スポーツイベント開催への支援《スポーツ課》
*オホーツク歩くスキーの集い 20万円
*ホクレン・ディスタンスチャレンジ網走大会
180万円
*各種全道大会補助(11大会) 291万円
*市民駅伝競走大会 150万円

○スポーツ少年団活動の支援《スポーツ課》
市内スポーツ少年団が全道大会などへ参加する際
の交通費を助成します。 300万円

新たな取り組み

○高校総体のボート競技大会開催への取り組み
《スポーツ課》
令和5年度の開催に向けて準備します。 140万円

充実させた取り組み

*漕艇場の整備 1,393万円

充実させた取り組み

○総合体育館の改修《スポーツ課》
*第1体育室の床の補修 380万円
*ボイラー給水タンクの更新 190万円

○「夢の教室」の開催《スポーツ課》
トップアスリートなどが小学校を訪問し、夢をも
つことなどの大切さを伝える「夢の教室」を開催し
ます。 225万円

充実させた取り組み

○陸上競技場の整備《スポーツ課》
超音波風速計2台を更新します。 221万円

市民の積極的な市政への参画や情報共有等を推進しながら、市民と行政の信頼関係を深め、ともに考え、ともに築くまちを目指します。
また、時代のニーズに適應した効率的、効果的で持続可能な行政運営を進めるとともに、さまざまな連携により地域課題の解決を目指します。

地域協働

【市民活動】

○町内会連合会の活動支援《市民活動推進課》 180万円

○コミュニティセンター・住民センターの維持管理《市民活動推進課》

新たな取り組み

* デジタル環境の整備 144万円

* 環境整備 288万円

充実させた取り組み

* 施設修繕 282万円

新たな取り組み

* オンライン予約システムの導入 142万円

充実させた取り組み

○集会施設の設置・改修《市民活動推進課》 80万円

充実させた取り組み

○音根内地区福祉会館の改修《市民活動推進課》 100万円

○市民活動の活性化に向けた取り組み《市民活動推進課》
市民活動の推進を図るため、市民団体向けのセミナー開催や、コミュニティ活動を支援します。 45万円

○食品加工体験センターの管理運営《市民活動推進課》 1,042万円

○友好都市との交流《市民活動推進課》
平和の尊さや戦争の悲惨さを広く市民に伝えるため、沖縄県糸満市へ中学生を派遣します。 107万円

行政運営

【行政運営】

充実させた取り組み

○新庁舎の建設《庁舎整備推進室》
新庁舎の建設用地の取得、外構の整備、建設の支障となる物件の移設補償を行います。 1億3,767万円

充実させた取り組み

○新庁舎建設のネットワーク設計《庁舎整備推進室》
新庁舎の情報通信ネットワークの基本設計およびZEBの認証にかかる申請を行います。 1,335万円

充実させた取り組み

○新庁舎移転に向けた公文書の管理《総務防災課》 1,404万円

充実させた取り組み

○デジタル化推進への取り組み《デジタル化推進室》
デジタル化やデジタルマーケティングの専門知識を持った人材を登用します。 488万円

充実させた取り組み

○庁内情報系サーバーの更新《情報政策課》 56万円
(総事業費 5,782万円)

新たな取り組み

○電子申請および施設予約システムの導入《情報政策課》 314万円

充実させた取り組み

○電子文書活用促進の取り組み《総務防災課》 955万円

充実させた取り組み

○電子納付（キャッシュレス決済）の導入《税務課》 825万円

新たな取り組み

○窓口業務支援システムの整備《戸籍保険課》
来庁者に書かせない・迷わせない窓口とするためのシステムを整備します。 2,330万円

新たな取り組み

○戸籍事務システムクラウド化の実施《戸籍保険課》 2,529万円

新たな取り組み

○証明書のコンビニ交付システムの整備《戸籍保険課》 4,402万円

新たな取り組み

○個人番号カードの普及促進への取り組み《戸籍保険課》
出張窓口を開設するための機器を整備し、個人番号カードの普及を促進します。 22万円

新たな取り組み

○選挙の期日前投票所の増設《選挙管理委員会》
期日前投票所を増設して、選挙人の利便性を向上します。 801万円

行政運営

【情報】

新たな取り組み

○SNS活用に向けた取り組み《企画調整課》
市公式LINEを活用し、市民からの情報収集や問い合わせ対応などを行います。 308万円

1 基本的な考え方

これまでの4次にわたる行政改革の取り組みにより、財政の健全化や子育て支援の充実、地域医療体制の確保などにおいて、一定の成果を得ることができました。

一方で、今後、少子高齢化、公共施設の耐震化や長寿命化、ごみの減量化などへの対応に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大によるさまざまな変革への対応に迫られています。

このため、デジタル・トランスフォーメーションなどの新たな概念を踏まえた「第5次網走市行政改革推進計画」を策定し、なお一層の行政運営の効率化、財政基盤の強化、市民満足度の向上に取り組むこととします。

2 中期財政収支の見通しおよび財政健全化の取り組みの方向性

- ◆計画期間中(R3~R7)の財政収支見通しは、5年間で約28億円の収支不足が見込まれています。
- ◆収支不足については、最大限の圧縮を図った上で、基金の取り崩しで対応します。令和7年度末の取り崩し可能な基金(貯金)残高を令和2年度末の見込み残高の約34億円と同水準を確保することを目標とします。

3 財政健全化の取り組み

【事務事業の見直し及び予算執行努力】

- ◆事務事業の必要性、有効性、効率性など多角的な観点から絶えず見直し、予算執行過程においても、より一層の縮減に努めます。

【多様な歳入の確保】

- ◆ふるさと納税制度は、より多くの方に本市を応援していただけるよう努めるとともに、企業版ふるさと納税にも積極的に取り組みます。

4 行政改革の取り組み効果額および取り組み後の収支等の見込み

- ◆計画期間中の行政改革の取り組み効果額は、18億円を見込んでいます。
- ◆行政改革の取り組み後の収支不足額は、約10億円に圧縮する見込みです。
- ◆基金(貯金)残高は、約22億円(令和7年度末)を確保できる見込みです。

5 行政改革推進の取り組み

【新しい日常に対応した行政サービスの提供】

- ◆市民サービスのデジタル化
各種申請・施設予約などのオンライン化、コンビニエンスストアでの証明書などの交付、書かせない・待たせない窓口やキャッシュレス決済の導入など、どこでも誰もが市民サービスを楽しめるよう、デジタルの力でもう一つの市役所「手のひら行政」の構築を推進します。
- ◆行政運営のデジタル化
人工知能・業務自動化などの先進技術の活用、オープンデータの推進など、デジタルを活用した業務の効率化により、多様な市民ニーズに対応できる持続可能な行政運営に努めます。

【社会情勢の変化や多様な市民ニーズへの対応を可能とする組織づくり】

- ◆柔軟かつ効率的な組織の構築
突発的な業務に迅速に対応すべく、職員を柔軟かつ効率的に配置する組織運営を目指します。また、職員の定年を段階的に65歳に引き上げ、働く意欲のある高齢層職員の能力を活用するとともに、経験、知識、技能を次世代の職員へ継承していきます。
- ◆働き方改革の推進
ワークライフバランスの推進に向けた職員の意識改革、長時間勤務の抑制に取り組むとともに、大規模災害などの有事における行政機能の維持、出産や育児、介護と仕事の両立支援に加え、感染症対策の観点から、多様な働き方を可能とするテレワークの導入を進めます。

あばしりしみんけんしょう

網走市民憲章

しょうわ ねん がつ にちせいてい
昭和47年7月17日制定

わたしたちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然にかこまれた網走の市民です。

わたしたちには、遠いむかしから風雪にたえぬいて、この地をきり拓いてきた、たくましい先人の心がうけつがられています。

わたしたちは、このまちの市民であることに、かぎりない喜びと誇りをもち、のびゆく網走の良い市民となる願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. うみやまの深いみどりをいつまでも美しく、心豊かなまちをつくりましょう。

1. うけついだ文化にまなび、世界の人々と手をつなぎ新しいオホーツク文化のまちをつくりましょう。

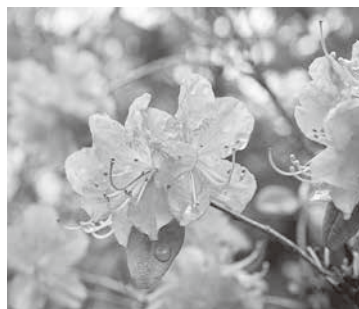
1. たがいにまごころをもってつきあい、老人を大切に、子どもの夢をそだてる、しあわせなまちをつくりましょう。

1. 元気で仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。

1. みんなが力をあわせ、人のいのちをだいじにする、明るく住みよいまちをつくりましょう。



市の木／かつら



市の花／えぞむらさきつつじ